

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
In 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

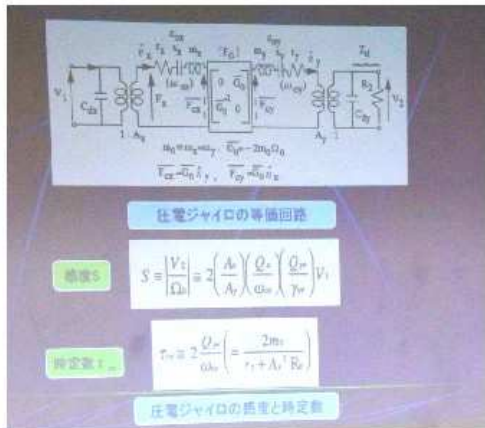
メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

高大接続研究事業特別講義「総合科目」6月29日(水) 石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科 工藤すばる 教授 「不思議な石ころ」

中でも工藤教授の専門は「圧電セラミックス」。電気エネルギーを振動に変換する性質を持つのです。この技術が使われているも

令和4年度高大連携事業「総合科目」第5回目の授業は6月29日(水)本校カリエーションホールで「不思議な石ころ」と題して石巻専修大学理工学部情報電子工学科工藤すばる教授から講義を行いました。地球上に転がっているたくさんの「石ころ」人類はそれらを用いてたくさんのものを作り出してきました。自然の状態の石に人間が手を加え作られたものは「セラミックス」と呼ばれています。セラミックスの大きな特徴は、「さびない」「燃えにくい」「硬い」「成形しやすい(作りやすい)」という4点。古くからある石を焼くことで作られたレンガや陶磁器は「クラシカルセラミックス」という名称で、現在では原子レベルでコントロールし作り上げられた「フュージョンセラミックス」が様々な分野で使われています。

の例として、車のバックソナー(後方の検知システム)が挙げられます。超音波による振動を発生させ、はね返ってきた「音」(振動)により車と障害物の距離を測るといった仕組みのセンサーです。そのほかにも、圧電センサーや血圧計などにもこれらの技術が用いられています。



また、工藤教授は「ジャイロセンサー」と呼ばれる計測器についても深く研究されています。

以下は受講生達の感想です▼当り前のように思っていた生活の中にも思わぬ技術が生み出しているのが追求し生み出しているものが

多くあることを知りました▼セラミックスが有能だということを知ったことと血圧計やセンサーなどもセラミックスを細かい粒子単位で作ることでもさまざまな物が作られているとわかったこと▼話が結構複雑で少し難しかったところも多かったけれど、実験を目の前で見られたし、絵や図も書いてあってすぐ分らなくなりました▼石ころがすごい力を秘めていることを知れた。実際に実験を生んで見て分かるんですね▼理解ができた「石ころ」にはいろいろな性質があるということを知れたこと▼石ころが自分たちの生活で役に立っているのを知れたこと▼今まで全く調べたことも思わなかった理工学的な研究について学び、セラミックスという新たな知識を手に入れることができたこと▼セラミックスの構造などを理解することができた。コマの実験などで分かりやすく説明していただき、普通のコマだと思っていましたでしたが速度が関係しているとは思わなかったのを見て楽しかったです。向きが必要だということも知ることができました。そしてひとつのエネルギーだけでなく電氣的エネルギー

、そして機械的エネルギーが必要なのもわかってよかったです▼カーナビや車両の姿勢制御用のジャイロセンサーにも不思議な石ころが使われること実験が成功したことジャイロについて知ることができた▼研究に大切なことがわかった音段わたしがなかなかならないうことがわかった▼不思議な石ころが私たちの生活の中であんなに活躍していることがわかった。身近にあることを知れて良かった▼圧電の性質を用いてセンサー、センサーなど振動を感じ取り、センサーは様々な役に使われているのだと知った▼コマは回っているとしても少しの衝撃では倒れないというところがわかった。たしかに自転車をこぐ時タイヤが回らないときなどはびっくりなと思いました▼ただの石ころにも科学的な性質が隠れていることが色々なことに応用されていることを学んで、初めて知ったことだったのがよかったです▼実際に実験をした事によって理解することができたコマや振り子の実験を通して難しい物理についてとても詳しくなれたこと。そして電気系などの言葉や説明があったのでとても新しい知識を学べる講義になった。



、そして機械的エネルギーが必要なのもわかってよかったです▼カーナビや車両の姿勢制御用のジャイロセンサーにも不思議な石ころが使われること実験が成功したことジャイロについて知ることができた▼研究に大切なことがわかった音段わたしがなかなかならないうことがわかった▼不思議な石ころが私たちの生活の中であんなに活躍していることがわかった。身近にあることを知れて良かった▼圧電の性質を用いてセンサー、センサーなど振動を感じ取り、センサーは様々な役に使われているのだと知った▼コマは回っているとしても少しの衝撃では倒れないというところがわかった。たしかに自転車をこぐ時タイヤが回らないときなどはびっくりなと思いました▼ただの石ころにも科学的な性質が隠れていることが色々なことに応用されていることを学んで、初めて知ったことだったのがよかったです▼実際に実験をした事によって理解することができたコマや振り子の実験を通して難しい物理についてとても詳しくなれたこと。そして電気系などの言葉や説明があったのでとても新しい知識を学べる講義になった。



、そして機械的エネルギーが必要なのもわかってよかったです▼カーナビや車両の姿勢制御用のジャイロセンサーにも不思議な石ころが使われること実験が成功したことジャイロについて知ることができた▼研究に大切なことがわかった音段わたしがなかなかならないうことがわかった▼不思議な石ころが私たちの生活の中であんなに活躍していることがわかった。身近にあることを知れて良かった▼圧電の性質を用いてセンサー、センサーなど振動を感じ取り、センサーは様々な役に使われているのだと知った▼コマは回っているとしても少しの衝撃では倒れないというところがわかった。たしかに自転車をこぐ時タイヤが回らないときなどはびっくりなと思いました▼ただの石ころにも科学的な性質が隠れていることが色々なことに応用されていることを学んで、初めて知ったことだったのがよかったです▼実際に実験をした事によって理解することができたコマや振り子の実験を通して難しい物理についてとても詳しくなれたこと。そして電気系などの言葉や説明があったのでとても新しい知識を学べる講義になった。

、そして機械的エネルギーが必要なのもわかってよかったです▼カーナビや車両の姿勢制御用のジャイロセンサーにも不思議な石ころが使われること実験が成功したことジャイロについて知ることができた▼研究に大切なことがわかった音段わたしがなかなかならないうことがわかった▼不思議な石ころが私たちの生活の中であんなに活躍していることがわかった。身近にあることを知れて良かった▼圧電の性質を用いてセンサー、センサーなど振動を感じ取り、センサーは様々な役に使われているのだと知った▼コマは回っているとしても少しの衝撃では倒れないというところがわかった。たしかに自転車をこぐ時タイヤが回らないときなどはびっくりなと思いました▼ただの石ころにも科学的な性質が隠れていることが色々なことに応用されていることを学んで、初めて知ったことだったのがよかったです▼実際に実験をした事によって理解することができたコマや振り子の実験を通して難しい物理についてとても詳しくなれたこと。そして電気系などの言葉や説明があったのでとても新しい知識を学べる講義になった。

、そして機械的エネルギーが必要なのもわかってよかったです▼カーナビや車両の姿勢制御用のジャイロセンサーにも不思議な石ころが使われること実験が成功したことジャイロについて知ることができた▼研究に大切なことがわかった音段わたしがなかなかならないうことがわかった▼不思議な石ころが私たちの生活の中であんなに活躍していることがわかった。身近にあることを知れて良かった▼圧電の性質を用いてセンサー、センサーなど振動を感じ取り、センサーは様々な役に使われているのだと知った▼コマは回っているとしても少しの衝撃では倒れないというところがわかった。たしかに自転車をこぐ時タイヤが回らないときなどはびっくりなと思いました▼ただの石ころにも科学的な性質が隠れていることが色々なことに応用されていることを学んで、初めて知ったことだったのがよかったです▼実際に実験をした事によって理解することができたコマや振り子の実験を通して難しい物理についてとても詳しくなれたこと。そして電気系などの言葉や説明があったのでとても新しい知識を学べる講義になった。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

東北高校選手権大会(卓球競技) 6月24日(金)~26日(日) 福島県・いわき市立総合体育館

卓球男子 学校対抗 第3位 男子シングルス 準優勝 大場 隆也 男子ダブルス 第3位 野中大地・佐藤 遼太



※団体
第3位
専修大学北上高等学校

6月24日(金)~26日(日)
(福島県・いわき市立総合体育館)

◆団体
▽準々決勝
専大北上 3-1 0 古川学園
(岩手) (宮城)
帝京安積 3-1 0 秋田
(福島) (秋田)
鶴岡東 3-1 0 東奥義塾
(山形) (青森)
福島東陵 3-1 1 秋田商業
(福島) (秋田)
▽準決勝
専大北上 0-3 福島東陵
(岩手) (福島)
鶴岡東 3-1 0 帝京安積
(山形) (福島)
▽決勝
鶴岡東 3-1 2 福島東陵
(山形) (福島)

◆ダブルス
▽1回戦
山本寿絨 1-3 辻村
和田侑斗 佐藤
(専大北上) (八戸工業)
▽2回戦
野中大地 3-1 角田
佐藤遼太 佐藤
(専大北上) (古川学園)
大場隆也 3-1 平野
鈴木李空 高橋
(専大北上) (帝京安積)
兼平優斗 3-1 伊藤
齋藤太一 岩永
(専大北上) (帝京安積)
昭井涼太郎 3-0 山本
佐藤 野中
(専大北上) (鶴岡東)
▽3回戦
野中大地 3-0 榎
佐藤遼太 高山
(専大北上) (鶴岡東)
大場隆也 1-3 齋藤
鈴木李空 佐藤
(専大北上) (東奥義塾)



▽準々決勝
野中大地 3-2 多田
佐藤遼太 橋
(専大北上) (鶴岡東)
兼平優斗 2-3 熊谷
齋藤太一 梅木
(専大北上) (鶴岡東)
▽準決勝
野中大地 1-3 遠藤
佐藤遼太 佐々木
(専大北上) (鶴岡東)

◆シングルス
▽準決勝
大場隆也 3-1 伊藤
(専大北上) (古川学園)

※第3位 野中大地 佐藤遼太



▽決勝
大場隆也 0-3 梅木
(専大北上) (鶴岡東)

※第2位 大場隆也

梅木 3-1 橋
(鶴岡東) (鶴岡東)



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長-高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第67回全国高校選手権岩手県大会 専修大学北上高等学校軟式野球 2年連続東東北大会出場

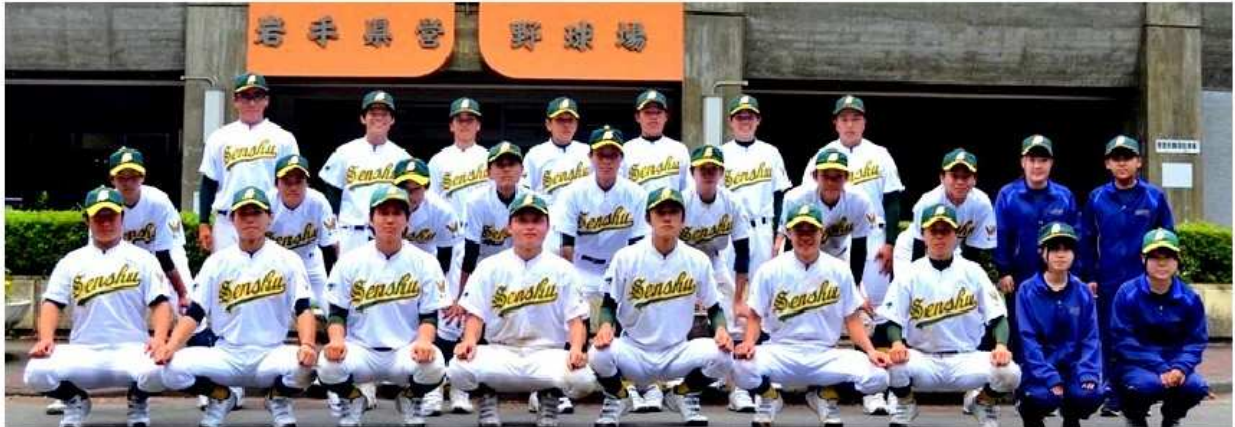


6月26日(日)
(盛岡市・岩手県営野球場)
▽代表決定戦
一関 000102000 3
001000114 8
専大北上
(一)菊地、片友、菊地
小原、菊地、阿部
(専)岡本恭武・照井彪天
▽本塁打
野崎幸冬(専)
▽二塁打
岩水琉真(専)
照井彪天(専)

佐藤 旭(専)
藤森、片友、菊地(一)
(評)専大北上は2年連続
県予選を突破した。専大北
上は1、2番が攻撃の軸と
なり、終盤に底力を発揮し
た。6回志村智輝主将(普
3年)、「北」中出身)の中
犠飛で同点。さらに7回1
死三塁、岩水琉真(普2年
(水沢中出身)左前へ勝ち
越し打を放った。8回2死
満塁で、1番野崎幸冬(自
3年)、「北」中出身)が公



式戦初となる「二」で満
塁打を放ち勝利に貢献し
た。
専大北上と盛岡一の2校
は7月30日(土)〜31日
(日)の両日、金ケ崎町の
しんきん森山スタジアムで
行われる東東北大会に進
み、優勝校に与えられる8
月24日(水)開幕の全国選
手権(兵庫県明石市)切符
獲得を目指す。



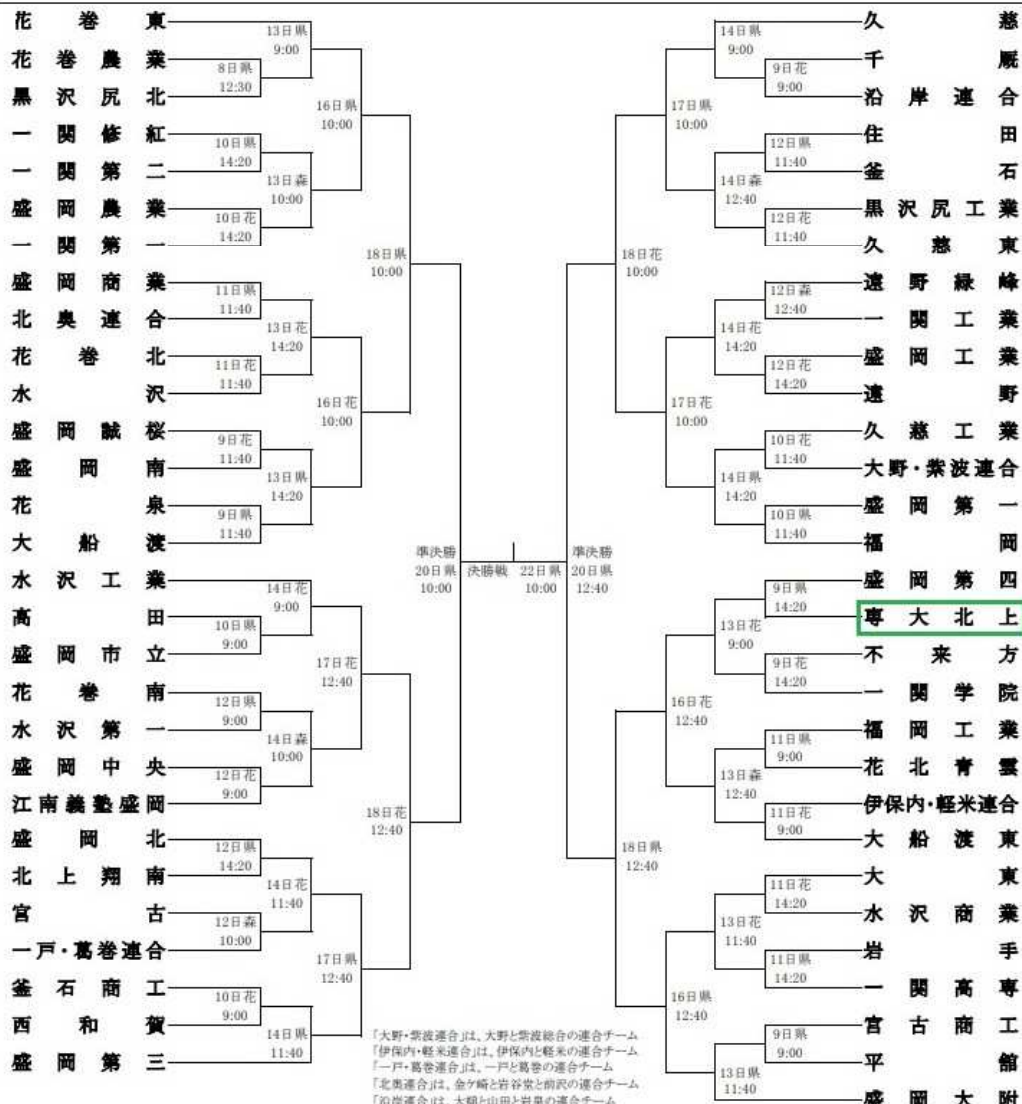
専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

**第104回全国高等学校野球選手権岩手大会組み合わせ決まる
7月9日(土) 岩手県営野球場 14時20分～
専修大学北上高等学校 VS 盛岡第四高等学校**

第104回全国高校野球選手権大会のキャッチフレーズ
「この夏も、応援したい君がいる。」



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

6月17日(金)新校舎(新1号館)の工事安全祈願祭行われる
専修大学松木健一理事長・北上学園宮岡孝之理事長
渡辺・N A S C A・アトリエR設計共同体
日本住宅・千葉匠建設特定共同企業体他40人が参加

一人ひとりの「未来を創る学びの場」
多様な人が自然と集い、認め合い、学びあう
地域にも優しい校舎が誕生します



紐入れの儀 宮岡孝之理事長 阿部 伸校長



鎌(刈苅の儀)

新1号館校舎・鉄筋コンクリート造り4階建・延べ床面積4636平方メートル
令和4年6月下旬着工・令和5年8月から使用開始
その後2号館をリフォームし改修後1号館解体に着手
外構工事を含め完了するのは2024年(令和6年)3月
総事業費 約21億円

自主的な学びを促す複数のアクティブラーニングルーム、学びの拠点となるラーニング commons(新図書館)、地域とつながる学びの実現に向け、正門近くに共用空間「アクティブホール」が整備され、災害時の



一時避難施設として使用できるよう停電時の冷熱源と緊急電源を確保。エレベーターを設置し、学校全体のバリアフリー化、生徒から要望の多かった全天候型ウォッシュレットが完備されます。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

高大接続研究事業特別講義「総合科目」6月15日(水) 石巻専修大学 人間学部 人間文化学科 野島那津子 准教授 「障害」を考える



令和4年度高大連携事業「総合科目」第4回目の授業は6月15日(水)本校ケリエーションホールで「障害を考える」と題して石巻専修大学人間学部人間文化学科野島那津子准教授から講義をいただきました。

2014年、佐村河内氏が障害者手帳を返納したこと
が報道され、耳が聞こえないと嘘をついていたことがメディアを騒がせた。しかし、実際は感音性難聴で障害者手帳を取得するまでに至らないが日常生活を送るには厳しいという。その診断書がマスコミにも提出されていたが、マスコミは手帳を返納したことだけを取り上げ、佐村河内氏を嘲笑、非難した。これに対して、同じように障害者手帳を取得できる程度ではないが、障害を抱えている人は非難される佐村河内氏と自分たちを重ねた。

表立って確認しづらい、見えない障害を抱えている人がたくさんいる。障害者手帳を取得している人だけが障害を持っているわけではなく、障害に対する理解のなさを、理解しづらさが障害

害を考える上での課題となっている。今回の講義では、以上のことを踏まえた、聴覚障害について、見えない障害をめぐる問題について行われている取り組みについてお話をいただきました。

以下は受講生達の感想です▼障害についても一度考え直す機会となった今までは社会的に触れないようにしていた部分について研究している人の講義を聞くことができた▼佐村河内氏を通して、聴覚障害について知れたこと。私たちが思っているよりも「障害」はあくが深いと分かったこと▼今までは駅などでヘルプマークを付けている人に何度か会ったことがあったけれど、「もし何かあったら助けて欲しいです」って意味だと思っていました。しかし意識にかけるだけでもないと言ふことを今日知り、それなら普通に誰でも出来そうだと感じた▼いろいろな障害を知ることができ、少しでも理解することができたので良かった。今まではあまり障害には触れないように避けて生きてしまっていたこと



どに気づき、正しい知識を身につけようと思えた▼日本の制度は他国と比べて厳しいことがわかった。見えない障害についてもっと理解して、障害者手帳を持つていなくて生活に支障をきたしているひたひたのことをわかった▼障害について色々学べた▼障害者手帳に紐があることを知れた。自分が思っている以上に障害者はつらくて大変だと感じた▼接し方を改めて丁寧にしようと思った。今までは障がいの人が近づくとびっくり考えたことばかりだったので、考えをきかっけになってよかった▼日本の障害基準が厳しすぎるや、1949年から身体障害者福祉法が改正されておかないことを初めて知ってびっくりと思った▼聴覚障害者についてまた障がい者手帳を



持っていない人も障害者であるということ佐村河内氏の内容から障害をもつ人への理解が自分にも足りていないと感じたので知れてよかった▼障害者が障がいの場面を見るのではなく、日常を見るべきだと感じたことに感銘を受けたこと障がい者について、自分なればいど無知か改めて実感することにより、意識が高まった▼身体障害者手帳は今までは、障がいのある人全員が昔えると思っていたけれど、違うということが学べてよかった▼障害者を持っていく人の考えや、世間を色んなことを言われても強生きしている所が印象に残った。障害について深く考える良い機会だったし、それを理解する方法を知れたから良かった▼世の中の障害者に対する知識が少なすぎることを感じた。常識を疑うことが想像するよりも知ろうとすることが大事だとわかった。聴力聞こえない「聞こえる」間違った「聞こえない」二分できる問題ではない。聴覚障害者、聞こえない、など、障がい、病気の多様性が知られておらず、問題が単純化されがち。という現状を改めて理解することができたので、良かったと思う。自分自身の問題だけでなく、社会全体の問題でも考えることが、もっと考えようと思える音程聞くことがない障がい者について焦点を当てて講義を聞いたので良かった▼私たちがはもっと障害や病気について知ることで、遊離な嘲笑をする人が減るのだとわかった。今回の講義を受けてよかったことは聴覚障害者について詳しくわかることができたこと、障害者についてよく理解するようになったこと、障害者への理解がどれくらい少ないかわかったので見えない病気への理解が大切なんだということがわかった▼受給できるようになったと思う▼母が障害者を持っていて、障害者手帳を母と共通することを聞いてよかったこと、思います▼障害者のひびきに対しての気持ちの持ち方や身の回りにいる人の配慮の仕方がわかった。いろんなところでいるんだと気づかされて生きていくんだとわかった。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長・高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

昭和52年(1977)からスタート今年で45年目 生徒会執行部列車マナー誓約書・美術部ポスターを北上駅へ提出



241名の誓約書北上駅長へ提出



6月14日(火) JR東日本北上駅に列車マナー誓約書と美術部作成の啓発ポスター11枚を提出してきました。
令和4年度の列車通学生は241名で、全乗学生の31.7%です。代表して生徒会副委員長普2年高橋幸月さん(上野田出身)から誓約書を山口一北上駅長へ、

- 北上市長・副市長さんから生徒の皆さんへお願い
- ①混んでいる時は、車両の中ほどまで詰めてほしい
 - ②ホームでの歩きスマホ・両耳イヤホンは安全確保のためやめてほしい
 - ③目と耳両方を使う際は、周囲の安全に気を配ることを心がけてほしい
 - ④両耳イヤホンをする際は、構内放送がしっかり聞ける音量にしましょう
 - ⑤イヤホンを使用する際は、いつも以上に周囲の状況に気をつけましょう
 - ⑥ワイヤレスイヤホンの落とし物が多発しています。乗降の際はスマホの操作はやめましょう
 - ⑦車内への忘れ物に気を付けましょう。傘の忘れ物が特に沢山あります
 - ⑧列車の運行情報を調べるならJR東日本アプリを利用ください

山口一北上駅長から、マナーアップ周知をお願いする際、高校生が作ったポスターのほうがJRが作ったポスターよりも、足を止めてみていただく機会が多いとうれしいお言葉をいただきました。また、「列車の運行情報を調べるならJR東日本アプリを利用ください」と紹介されました。

昭和52年から45年も続く生徒会の取り組みには大変驚き、また、誓約内容の一つである体の不自由な方への配慮には非常に感銘を受け、是非積極的に取り組んで欲しいとご挨拶をいただきました。

部の小澤可南さん(普3年)〈水派中出身〉から乗車マナーアップ啓発ポスターを提出しました。
山口一北上駅長から生徒会長の小田嶋唯音さん(普3年)〈和賀西中出身〉へ感謝状が手渡されました。駅では、北上駅長の山口一さん、副駅長の野村久美子さん、盛岡支社総務部サービス品質改革室副課長の藤川義久さんをはじめ、多くの駅職員の方が歓迎してくれました。



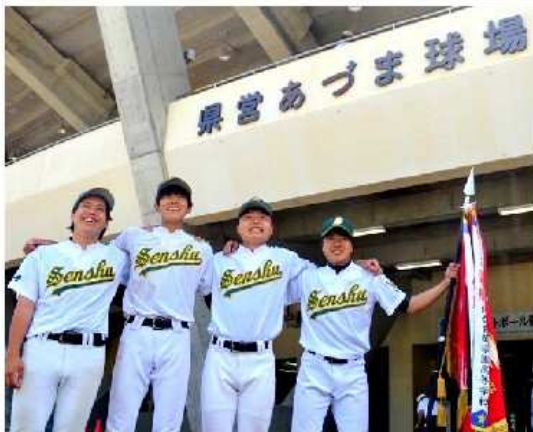
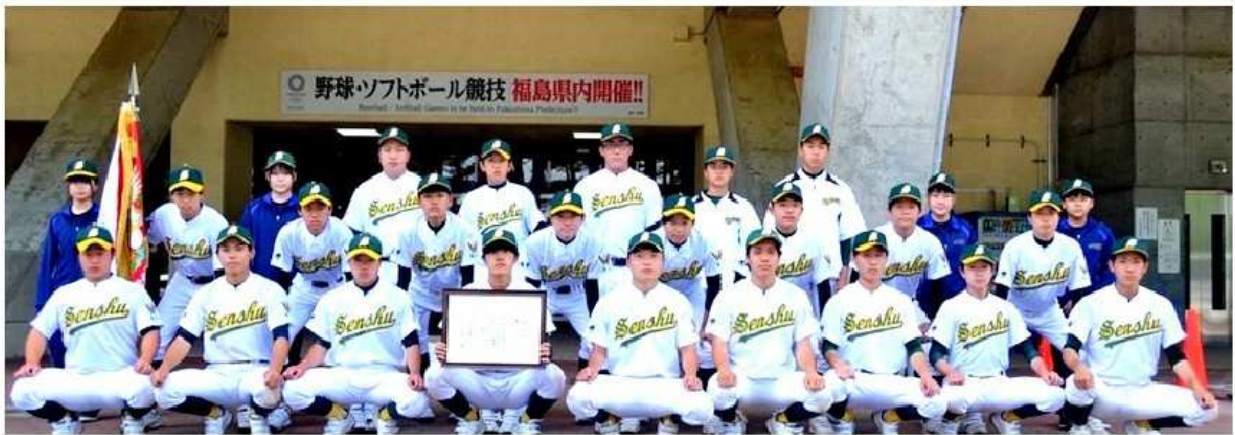
専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第16回春季東北地区高校軟式野球大会

**専修大学北上高等学校軟式野球部
2010年の第4回大会以来
12年ぶり3度目の東北大会優勝**



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長-高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第16回春季東北地区高校軟式野球大会

**専修大学北上高等学校軟式野球部
2010年の第4回大会以来
12年ぶり3度目の東北大会優勝**



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第16回春季東北地区高校軟式野球大会

専修大学北上高等学校軟式野球部 2010年の第4回大会以来 12年ぶり3度目の東北大会優勝



6月11日(土)
(福島市・信夫ヶ丘球場)
▽準決勝
専大北上 20000400000 6
02020001000 5
秋田(秋田第2)
(専) 岡本歩武・照井彪天
(秋) 和田・長谷川
▽三塁打 和田(秋)
▽二塁打 高橋飛統(専)
長谷川(秋)
(評) 専大北上は初回に2点を先制。2回と4回に2点ずつ奪われて逆転されたが、5回に4点を挙げて再びリードした。1点を返されたものの、接戦をものに、決勝戦へ駒を進めた。

6月13日(月)
(福島市・県営あづま球場)
▽決勝
専大北上 00210000200 5
10000000000 1
能代(秋田第1)
(専) 岡本歩武・照井彪天
(能) 高橋 大高一佐藤
▽三塁打 岡本歩武(専)
(評) 専大北上は0-1の3回、主戦岡本歩武(商2年)(湯本中出身)の左中間三塁打と敵失で逆転に成功。4回は野崎季冬(自3年)(北上中出身)の通時打で1点、8回は高橋飛統(商2年)(湯田中出身)の通時打で2点を加えた。投げては岡本歩武が被安打



8、専三振6、与四死球2の1失点で完投し勝利に貢献した。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第74回岩手県高等学校総合体育大会

専大北上軟式野球優勝 7大会連続18度目の優勝



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
盛岡一	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1
専大北上	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	7	0

TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9
盛岡	8	6	2	5	9	1	7	3	4
川	一	友	羽	葉	田	健	永	田	本
東									

PL	1B	2B	3B	TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9
川	高	小	三	専大	4	6	1	3	2	8	5	7	
野	村	橋	寺	北	野	岩	岡	照	高	懸	志	佐	渡
浦	上	崎	木	本	井	飛	田	村	旭	邊			

令和4年5月31日(火) 花巻球場 決勝戦



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel 0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌加
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤 諒

第74回岩手県高等学校総合体育大会

専大北上軟式野球優勝 7大会連続18度目の優勝

岡本歩武選手投打で活躍 〔商2年〕(湯本中出身)



▽二塁打
専大北上
(盛) 坂本、足永、千葉
(専) 岡本歩武、高橋飛統

▽三塁打
志行智輝(専)
高橋飛統(専)
照井彪天(専)
照井朋輝(専)
藤森、菊地(一)

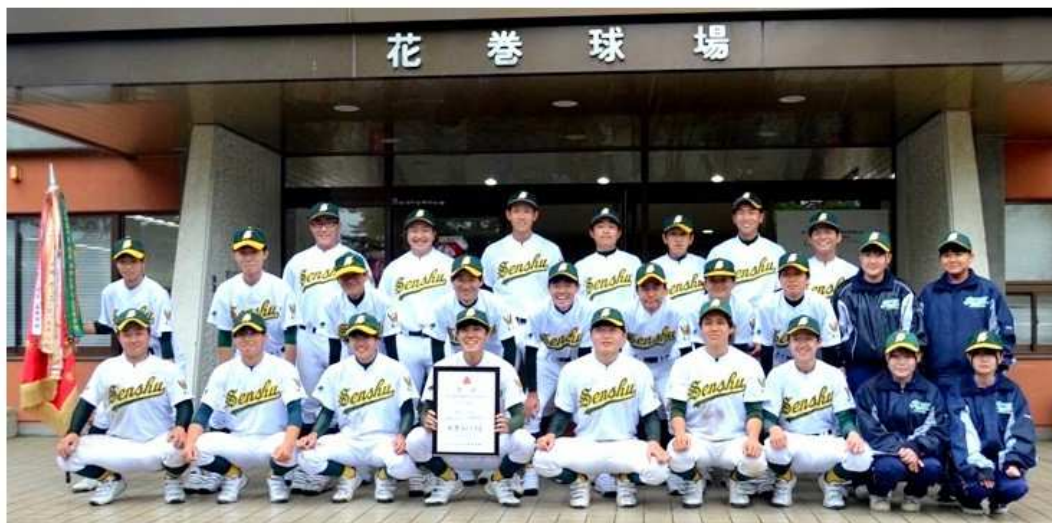
▽決勝
盛岡1
0001000000
00000020x 2 1

5月29日(日)30日(月)
(花巻市・花巻球場)
▽準決勝
一関1
0001000001 2
100024000x 7

▽決勝
専大北上
(一) 菊地、小原、阿部
(専) 岡本歩武、村上大、
岡本歩武



岡本歩武(専)千葉(盛)
※7大会連続18度目の優勝
(評) 決勝打を放った岡本歩武選手(商2年)(湯本中出身)の投打にわたる活躍が光った。
中盤まで毎回安打を放ちながら、得点に結びつかず4回に1点先制され、焦りもあったが、選手達は声を出し一致団結し勝利した。7回裏、敵失じ安打で二死1・2塁とする。岡本歩武選手が強振。これが左越えの逆転2点二塁打となった。
投げて伸びのある直球で、相手打線を9回を3安打、1失点と完璧な内容で締め勝利に貢献した。



令和4年5月31日(火) 花巻球場